



湘北短期大学のSDGsについて  
ご紹介するニュースレターです

## 新1年生のSDGs履修経験

新生にアンケート調査を  
実施しました

SDGs (Sustainable Development Goals ; 持続可能な開発目標) は、2015年9月に国連加盟193か国が採択した17の目標及び169のターゲットからなります。2030年までに達成すべき地球規模の課題には、貧困や飢餓、ジェンダー平等といった**社会**の課題だけでなく、気候変動対策や海と陸の資源を守る**環境**の課題、技術革新や人間らしい雇用、持続可能な消費と生産といった**経済**の課題が含まれ、「**誰一人取り残さない**」世界の実現を目指しています。

## 新科目「生活とSDGs」 目指すのは「自分ごと」として考えること

動画で紹介された取り組み事例

1. フードロスなくそう
2. 障がいがあるてもやりのある仕事を
3. 安全なトイレを世界に
4. 作る責任、使う責任
5. 海ごみをなくそう

導入では外務省の動画を活用



時には学長も学生のワークショップに参加、SDGsを達成するにはどうしたらいい？一緒に考えます。

# 湘北SDGs

創刊号

2022年度 第1号

今回の発行人 築瀬 千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学 生活プロデュース学科

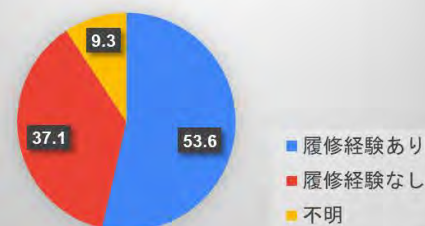
〒243-8501 厚木市温水428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

本学では、これまで一部の科目の中でSDGsを扱っていましたが、生活プロデュース学科では今年度より新科目「生活とSDGs」を開講しました。

この機会に、新生が高校時代にSDGsを授業で学んだ経験があるかどうかについて調査したところ、**高校時代にSDGs履修経験あり、と答えた学生が生活プロデュース学科新1年生全体の53.6%**と過半数を占めました。高校数としては、新生の出身高校70校中33校(47%)でした。

SDGsを学んだ科目で多いのは、「総合学習」、「現代社会」、「情報」、「家庭科」、「地理」の順で、ほとんどの高校で、17の目標を一つ選択して調べ、発表するという活動が実施されていました。中には、「未来探求」、「英語」、「文章表現」といった授業で、SDGsを題材として英語でプレゼンテーションしたり、小論文を書く、といった経験をしていた学生もいました。一方、同じ高校の出身でも、科目選択の違いからなのか、全くSDGsを学んだことがない、という学生も一定数いました。

高校でのSDGs履修経験の有無  
L学科新入生97名



湘北の教育理念「**社会でほんとうに役立つ人材を育てる**」は、まさに**持続可能な社会の創り手を育成すること**にほかなりません。

湘北では、高校の先生方が工夫され創り上げた学びの土台をしっかりと受け止め、学生の皆さんが、社会に出る前の最後の2年間で、SDGsの地球規模の社会課題を「**自分ごと**」として考えることができるよう、映像教材やカードゲームを用いたワークショップなど五感を使った学びを多数用意しています。

例えば最近の授業では、SDGs.TVなどの良質な動画を活用し、世界の今のリアルな状況を学びました。そこに映し出された現実には多くの学生は衝撃を受けます。そして、**飢餓、貧困、教育、水の確保など複数の目標が相互に関係している**ことを肌で感じとり、グループでどんな解決策があるかをディスカッションし発表します。



時にはアイスブレイクも兼ねて、お笑い芸人たかまつなさんが発案した「**SDGs ババ抜きゲーム**」を体験。普段は接点が少ない異なるコースの学生も、身振り手振りで楽しく打ち解け仲良くなりながら、17の目標をしっかりと認識するワークも行っています。「またやりたい！」の声が多数上がり、**楽しむ = 学ぶ**がリンクした瞬間でした。

また、公認ファシリテーター資格を保有した教員がいるため、官公庁や大手企業の社員研修でも採用されている**イマココラボの「2030SDGs ゲーム**」を授業の中で体験できるのも湘北ならではです。

湘北では、**正解のない時代を生きていく**学生たちが「**自分で考える力**」を身につけられる学びに力を入れています。

詳しい内容は発行人までお問い合わせください。



(文責 築瀬)